

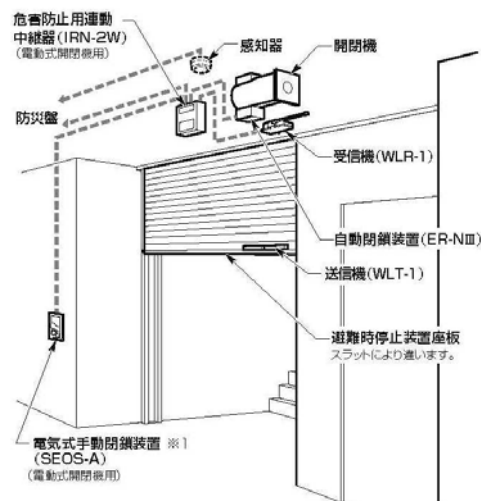
2012年5月22日

業界初！コードリール不要の新通信システムを採用した
防火シャッター用危害防止装置
「無線式避難時停止装置」を5月25日より発売いたします

三和シャッター工業株式会社（本社：東京都板橋区／社長：木下和彦）は、防火シャッターの危害防止装置として、防災機器大手のホーチキ株式会社（本社：東京都品川区／社長：根本健三）と共同開発した新通信システムを使用することでコードリールをなくした防火シャッター用危害防止装置「無線式避難時停止装置」を5月25日より全国発売いたします。

防火シャッター用危害防止装置とは、防火区画に設置される防火シャッターが火災時に熱や煙を感知して自動で閉鎖する際のはさまれ事故を防止するための装置で、2005年12月の建築基準法改正により設置が義務づけられています。シャッター下端部の座板スイッチに障害物が接触すると、シャッターは一旦停止し、障害物がなくなってから再度閉鎖を始めます。自動閉鎖中の防火シャッターを制御するための連動中継器と座板スイッチをコードでつなぐ従来のコードリール方式と比較して、三和の防火シャッター用危害防止装置「無線式避難時停止装置」は①施工の短縮化、②意匠性の向上、③新設・既設に対応可能 が特長です。

当社は、2005年9月よりホーチキ株式会社と包括的な業務提携を行っており、これまでも住宅用火災警報器などの商品の相互販売や、共同開発を実施してきました。これからも、両社の得意分野を活かしたシナジーの創出により商品力を高めながら、お客様の安全・安心・快適な暮らしを支える商品を提供してまいります。



◆商品名 「無線式避難時停止装置」

◆発売時期 2012年5月25日

◆特徴

施工の短縮化

コードリール方式では、コードリールを設置する際の配線・調整作業が必要でしたが、無線式避難時停止装置はコードリールの代わりに無線式の送信機と受信機をシャッター本体に取り付けるだけで済みますので、施工を短縮化することができます。

意匠性の向上

コードが露出しないため、すっきりとした外観を得られます。また、いたずらや断線などの心配がないので、特に大型商業施設や地下街のテナント入口など、外部からの侵入防止のため管理用シャッターを兼ねて使用している防火シャッターに適しています。

新設・既設に対応可能

新設はもちろん既設にも後付けすることができます。2008年4月より建築基準法12条に基づく定期報告制度が変更され、特殊建築物などの所有者・管理者には防火設備の作動状況について定期的な調査報告が義務づけられています。その際に危害防止機能のない全ての防火シャッターは「要是正」と判断され、修理や部品の交換などにより是正することが必要な状態であり、所有者には是正が促されます。使用者の安全を守るため、危害防止装置を備えていないシャッターへの本装置の取り付けをおすすめします。

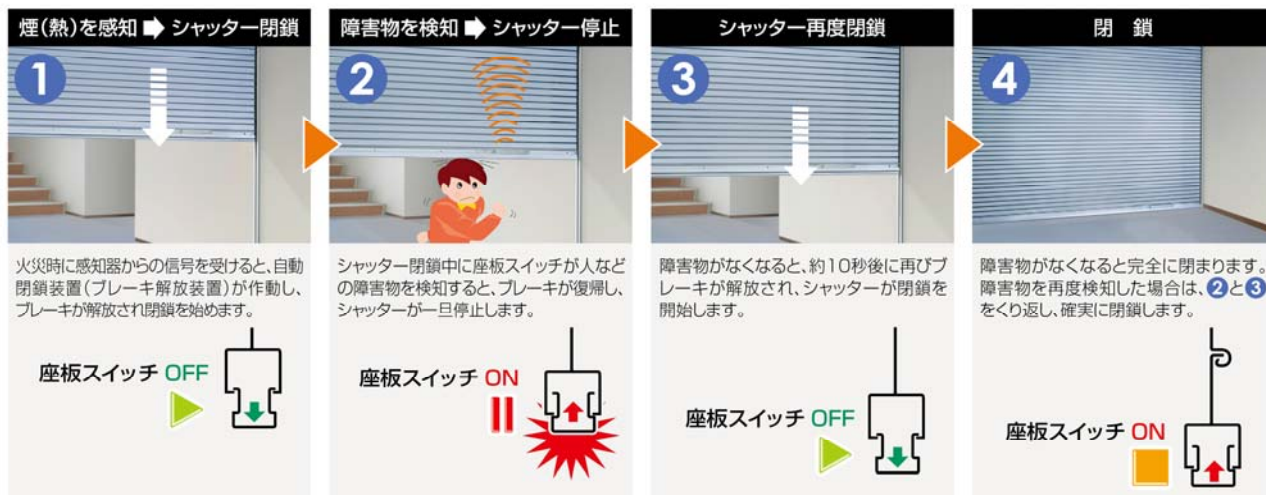
◆適用商品

防火シャッター

防煙シャッター（5 m以下）

※サンシリカスクリーン等の大臣認定品は適用外

◆動作説明



- ◆参考価格 価格：1,200,000円（消費税含む）
（取付工事費、搬入費、諸経費は含まれておりません）
仕様：無線式避難時停止装置付きG型スラット電動式防火・防煙シャッター
（管理併用タイプ）
W=3,500mm、H=2,600mm
- ◆販売目標 初年度（1年間）：約20億円（標準取付工事費含む）



無線式避難時停止装置付き防火シャッター